



美杉会グループ 学会発表成績

2019年10月27日(日) 第20回大阪病院学会

大阪国際会議場にて第20回大阪病院学会が開催されました。
今回のテーマは「大転換期の日本と医療—輝かしい未来をめざして—」です。
当法人からは 12演題発表し、うち4題が優秀演題として表彰されました！！

優秀演題



佐藤病院 3階
看護師長 和栗裕子

新しい「目標管理シート」活用と指導・支援
による病棟看護の質向上への取り組み



有料老人ホームフィオーレ美杉
看護主任 田中美恵子

誤嚥性肺炎を減少させた口腔ケア



ホームヘルプステーションまきの
介護主任 末利義孝

人材育成システムの構築
～さらなるレベルアップへ～



介護老人保健施設美樟苑
介護主任 鈴木浩之

介護職員の腰痛予防の意識と福祉用具
の定着を目指した取り組みについて

その他の発表

佐藤病院 放射線部 水本祐嗣	当院 CTにおける逐次近似再構成法を用いた新たな撮像プロトコルの確立 —被曝低減と画質向上を目指して—
佐藤病院 栄養部主任 堀内達也	大阪府北部地震発生直後の美杉会グループ給食直営施設の状況と対応
佐藤病院 メディカルコンシェルジュ室 室長 丸尾和美	メディカルコンシェルジュ室開設から2年の現状報告と課題
佐藤病院 医事課主任 眞浦伽奈	外来患者満足度向上にむけての取り組み
老健美杉 看護部 笠井美由紀	施設看取りに向けた家族支援～家族アンケートから考える課題と今後の取り組み～
老健美樟苑 介護主任 三浦太郎	全職員の流行性ウイルス疾患に対する抗体確認の徹底
フルール東山 介護療養部 笹井誠二	サ高住で楽しむ第2の人生
法人事務局 総務部主任 川島航平	「患者満足度向上委員会」の立ち上げと運営について

優秀演題受賞者のコメントはこちら

●佐藤病院 3階 看護師長 和栗裕子

「新しい『目標管理シート』活用と指導・支援による病棟看護の質向上への取り組み」

目標管理とは、有名な経済学者のピーター・ドラッカーが提唱した「組織貢献と自己成長の両方が達成できる個人目標を上司がサポートするマネジメント」のことで、美杉会では、約20年前から導入しています。

今回、いままで使用してきた目標管理シートを病棟ナースと管理者がさらに使用しやすく改善し、学会で発表しました。結果として優秀演題に選ばれ、大変光栄に思っております。今後も目標をもって看護提供に努め、患者のみなさまのお役にたてればと願います。



●有料老人ホームフィオーレ美杉 看護主任 田中美恵子

「誤嚥性肺炎を減少させた口腔ケア」

この度は2019年10月27日に開催されました大阪病院学会に参加させていただき、またこのような優秀演題に選ばれましたこと大変うれしく思っております。介護施設では看護と介護が協働し、利用者様とその家族を支えています。今回取り組んだ口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防に繋がり、少しでも長く口から食べることの幸せを感じてもらえるように支援出来た事、そして今後も看護師と介護士が協働しながら利用者様の健康管理にあたりたいと思っております。



●ホームヘルプステーションまきの 介護主任 末利義孝

「人材育成システムの構築～さらなるレベルアップへ～」

今回発表した内容は、当法人内介護療養部で取り組んでいる教育プログラム内容についてです。ケアワーカーの役職者中心に教育委員会を立ち上げ、当法人内の施設・在宅サービスなどで働いている介護スタッフの経験年数や上昇志向の職員に応じた教育プログラムの構築を行ってきました。そういった取り組み内容について優秀演題に選ばれた事は、非常に誇らしく思います。今後も人材育成を根本に各職員の育成に努め教育委員会を盛り上げていけたらいいと思います。



●介護老人保健施設美樟苑 介護主任 鈴木浩之

「介護職員の腰痛予防の意識と福祉用具の定着を目指した取り組みについて」

今回は腰痛予防の意識と福祉用具の定着について発表させて頂きました。介護職員が働きやすい環境を整え、さらには利用者さんにも安心安楽な支援を提供するために、腰痛に対する知識と福祉用具の導入などを積極的に行い、定期的に研修会も開催しています。

この度は、このような活動が認められたと思大変嬉しく思っています。今後も、この活動が更なる発展をしていくよう頑張っていきたいと思っています。

